

第19回(2022)環境情報科学ポスターセッション 発表ポスター一覧

<参加者・発表者の皆様へ>

・本ポスターセッションは、大会期間中は各発表動画の下部のコメント欄を使用して質疑応答(ディスカッション)を行うことができます。質問時には、コメント欄に質問者の氏名と質問内容を入力して投稿してください。なお、質問、コメントは階層順ではなく、投稿順に表示されます。発表者は、各コメントに対し誰からの質問、コメントに対するものかを最初に記述して回答してください

・発表者は、大会期間中は適宜自身の発表動画のコメント欄を確認いただき、質問があれば質問への回答をお願いします。

・本ポスターセッションは、12月11日にライブ質疑を行います。ライブ質疑では、各発表者は2分以内で簡潔にポスターの背景・目的・結論を説明し、その後会場からの質問および動画のコメント欄の質問等について3分以内で回答していただきます(1発表あたり持ち時間は5~6分です)。

・ライブ質疑では発表者はご自身のセッションの発表時間内は継続して出席いただき、質疑にご参加ください。

・ライブ質疑は、審査及び記録用として事務局が録画を行いますのでご了承ください。

・大会終了後、12月19日までは大会サイトは継続して公開しますので、発表動画および質疑への回答内容等の閲覧のみ可能です。また、12月19日午後(14~16時の間の1時間程度)に優秀な発表に対する授賞式を兼ねた交流会をオンラインにて開催予定です。詳細は別途改めてご連絡しますので、ポスター発表者はぜひご参加ください。

注) 発表動画等の録音・録画・スクリーンショット等の行為はお控えくださいますようお願いいたします。

セッション	参加部門	ポスター名	筆頭発表者	所属	ライブ質疑発表時間	座長
環境評価, 生態系, 災害, 環境教育	一般	人口減少地域における雪害の将来リスクと適応策の検討	小野 聡	千葉商科大学商経学部	10:00~ (12月11日)	小林 剛 (横浜国立大学大学院環境情報研究院) <専門:環境化学>
	一般	アスベスト対策を目的とした解体等工事の立入計画へのネットワーク分析の活用	豊永悟史	熊本県保健環境科学研究所大気科学部		
	一般	衛星画像データに基づくカリブ海で大量発生したサルガッサムの調査	羽地 朝	武蔵野大学環境学研究所		
	学生	企業の環境情報開示と温室効果ガス排出量の関係の分析	中野基生	横浜国立大学大学院国際社会科学府		
	学生	微気象形成効果から捉えた都市河川における自然の価値に関する研究	平山隼斗	日本大学理工学部海洋建築工学科		
	学生	温湯施設への熱供給を行う木質バイオマスCHPの災害時利用に関する研究	加藤桜椰風	早稲田大学大学院 創造理工学研究科 建築学専攻		
	学生	都市における木材を活用した暑熱対策施設の効果検証	枝廣玲志	関西大学大学院 理工学研究科 環境都市工学専攻 都市システム工学専攻		
	学生	中等教育の地理科における環境教育の実践と、生徒の意識の変化に関する考察	杉崎翔梧	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科		
	学生	大学の環境人材育成における地域連携に関する研究	張 思齊	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科		
環境社会学, 環境意識	学生	植物と接する習慣の有無と女性特有の諸症状との関係性について	松下莉奈	千葉大学大学院 園芸学研究科	11:10~ (12月11日)	片野洋平 (明治大学農学部) <専門:食・農・環境の社会学、法社会学>
	学生	共感的ネット利用がレジリエンスへ及ぼす影響の縦断分析	鎌田正行	創価大学大学院理工学研究科情報システム工学専攻		
	学生	カーシェアリング利用の阻害要因の明確化に関する研究	水野一輝	早稲田大学大学院 環境エネルギー研究科 学生		
	学生	マスメディアが及ぼす視聴者の環境行動への影響に関する研究	鈴木杏花	早稲田大学大学院環境エネルギー研究科		
	学生	都市農地に対する周辺住民の評価と保全の意向に関する研究	中村剛士	筑波大学システム情報工学研究群 社会工学プログラム		
	学生	環境への意識と幸福感に関する研究	眞 優莉亜	早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科		
	学生	「地元には何もない」と思う理由に関する研究	谷口 渚	筑波大学理工学群社会工学類		
	学生	洋上風力発電の推進における協議会の現状と課題~漁業者との調整に着目した日英比較~	安藤彰子	東邦大学理学部生命兼環境科学科		
地域循環共生圏, 循環型社会形成, 環境政策	一般	木質バイオマスエネルギーの活用による脱炭素と経済波及効果の評価	山崎慶太	竹中工務店 技術研究所	13:00~ (12月11日)	赤瀨芳宏 (名古屋大学大学院環境学研究科)<専門:環境法>
	一般	国際協力機構(JICA)による開発途上国における廃棄物管理分野へのプラットフォーム型支援	土畑いづみ	JICA地球環境部環境管理グループ環境管理第二チーム		
	学生	ゼロカーボンシティを目指している地域における公共建築物の省エネ化現状および課題	ZHANG HAOQI	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科		
	学生	再生可能エネルギー普及に伴って働く政治力学に関する研究~洋上風力発電を事例として~	真実井 将	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科		
	学生	滞留年数の延長による将来ストック・フロー及びCO2排出量への影響評価~道路におけるケーススタディー~	藤川奈々	名古屋大学大学院 環境学研究所 都市環境学専攻		
	学生	日本における建設資材ストック・フローの時空間分析	太田裕也	名古屋大学大学院環境学研究所 都市環境学専攻		
	学生	地方創生ローカルSDGs指標の視点からみた総合計画内の指標の整理	山川颯天	熊本県立大学総合管理学部総合管理学科		
	学生	重金属表層土壌汚染地におけるサステイナブル・レメディエーションに関する研究~環境・経済・社会の評価パラメータの検討と対策手法別評価	万晟吉	横浜国立大学 大学院環境情報学府		
	学生	審議会等の「討議の場」において会議参加者の発言にみられる「ヘッジ表現」の使用実態について	杉山 雄	東京都立大学大学院 都市環境科学研究所 都市政策科学域		
	環境経済, 環境経営, 消費者意識	一般	中国国家級風景名勝区の利用者負担の金額と徴収方法に関する整理	劉 銘		
一般		富士山保全協力金における事業区分別の協力金充当率についての一考察	小堀貴子	日本学術振興会特別研究員(RPD)/東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻		
学生		電気自動車普及促進事業における消費者への情報発信の現状調査~鹿児島県屋久島町の電気自動車普及を事例に~	熊 森	早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科		

セッション	参加部門	ポスター名	筆頭発表者	所属	ライブ質疑発表時間	座長
環境経済, 環境経営, 消費者意識	学生	グランピングにおける経済と環境の両立に関する研究	吉川宗成	早稲田大学大学院環境エネルギー研究科	14:10~ (12月11日)	有賀健高 (埼玉大学経済学部) <専門: 環境経済学>
	学生	中国の機関投資家はグリーン・ボンドをどこまで許容しているのか	善野吉博	埼玉大学大学院 人文社会科学研究所経済経営専攻		
	学生	CSV活動が企業の経済的パフォーマンスに与える影響に関する研究～顧客視点に焦点をあてて～	えんせん雨	早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科		
	学生	古着の購入行為に影響を与える要因に関する研究	車 蕾	早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科		
	学生	地域野菜の地産地消を実現するやさいパスの可能性: 滋賀県草津野菜を事例に	海野快斗	立命館大学食マネジメント研究科 食マネジメント専攻		
	学生	wellbeingツーリズム開発に向けた効果測定方法の検討	田中朱音	立命館大学大学院食マネジメント研究科		
都市計画, スマートシティ, 景観, 公園	一般	MMV11における八景研究の発表	青木陽二	国立環境研究所名誉研究員	15:20~ (12月11日)	土屋依子 (目白大学社会学部社会学科) <専門: 都市計画学>
	学生	記憶に残る日常の風景に関する研究-筑波大学のキャンパスを対象として-	池田千紘	筑波大学大学院 理工学情報生命学術院 システム情報工学研究群 社会工学学位プログラム		
	学生	温熱環境情報の提示が空間利用に与える影響に関する研究	深谷恭平	筑波大学大学院 システム情報工学研究群 社会工学学位プログラム 緑地環境研究室		
	学生	人口密度による住宅形態の変化と物質利用に関する分析: 滋賀県を対象とした事例研究	高杉晃司	立命館大学大学院 理工学研究科 環境都市専攻		
	学生	人流ビッグデータを用いた空間利用パターンの特性分析	Nguyen Huu Quang	筑波大学大学院 システム情報工学研究群・社会工学学位プログラム		
	学生	コンパニオン・アニマルとの共生のための都市環境整備に関する検討	川俣由菜	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科		
	学生	都市公園の実態把握におけるGPSログデータの利用可能性	山崎貴大	筑波大学大学院 社会工学学位プログラム		
	学生	都市公園芝生広場における芝生の維持に関する研究～利用パターンが芝生の質に与える影響を中心として～	トウ 祚	早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科		
	学生	都市化指標と生物多様性指標の関係性についての予備的研究-中部地域を事例として	金井季笑	中部大学大学院創造エネルギー理工学専攻		

<参加者・発表者の皆様へ>

・本ポスターセッションは、大会期間中は各発表動画の下部のコメント欄を使用して質疑応答(ディスカッション)を行うことができます。質問時には、コメント欄に質問者の氏名と質問内容を入力して投稿してください。なお、質問、コメントは階層順ではなく、投稿順に表示されます。発表者は、各コメントに対し誰からの質問、コメントに対するものかを最初に記述して回答してください

・発表者は、大会期間中は適宜自身の発表動画のコメント欄を確認いただき、質問があれば質問への回答をお願いします。

・本ポスターセッションは、12月11日にライブ質疑を行います。ライブ質疑では、各発表者は2分以内で簡潔にポスターの背景・目的・結論を説明し、その後会場からの質問および動画のコメント欄の質問等について3分以内で回答していただきます(1発表あたり持ち時間は5～6分です)。

・ライブ質疑では発表者はご自身のセッションの発表時間内は継続して出席いただき、質疑にご参加ください。

・ライブ質疑は、審査及び記録用として事務局が録画を行いますのでご了承ください。

・大会終了後、12月19日までは大会サイトは継続して公開しますので、発表動画および質疑への回答内容等の閲覧のみ可能です。また、12月19日午後(14～16時の間の1時間程度)に優秀な発表に対する授賞式を兼ねた交流会をオンラインにて開催予定です。詳細は別途改めてご連絡しますので、ポスター発表者はぜひご参加ください。

注) 発表動画等の録音・録画・スクリーンショット等の行為はお控えくださいますようお願いいたします。